



『光に生きる—ロビー・ミュラー』4.24 金曜上映会

金曜上映会

[レポート]
第10回 子どもの映画教室

www.yidff.jp

45
Apr. May
2020

認定NPO法人 山形国際ドキュメンタリー映画祭
をご支援ください www.yidff.jp/support

映画祭や上映会、映像教育・支援活動、アーカイブ活動の継続、新しい事業へのチャレンジへのご支援をお願いいたします。

本法人へのご入会について

4月から賛助会員(個人)会期、会費を改定しました!

認定NPO法人 山形国際ドキュメンタリー映画祭を継続的に支援して下さる方のための会員制度です。年齢、国籍、個人、団体を問わず、本法人の活動にご賛同いただける方であれば、どなたでもご入会いただけます(団体のご入会についてはお問い合わせください)。

	正会員(個人)	賛助会員(個人)
総会での議決権	あり	なし
寄附金控除	なし	あり
会員特典	映画祭入場料割引 フィルム貸出料割引	なし
会費	1口:10,000円	1口:10,000円▶5,000円
会員期限	4月1日~翌年3月31日(会員期限を統一しました)	

ご寄付も受け付けております

山形国際ドキュメンタリー映画祭は「認定NPO法人」です。認定NPO法人に寄せられた寄付金には、寄付金控除が講じられ、寄付を行なう側、受ける側、双方に有利になります。詳細は下記の映画祭事務局までお問い合わせください。

次号発行は
6月1日

編集・発行:認定NPO法人 山形国際ドキュメンタリー映画祭
〒990-0044 山形市木の実町9-52 木の実マンション201
電話:023-666-4480 FAX:023-625-4550
Eメール:info@yidff.jp ウェブサイト:www.yidff.jp
印刷:大場印刷株式会社

山形ドキュメンタリーフィルムライブラリー 金曜上映会

鑑賞会員無料(当日受付にてご入会下さい)

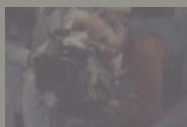
会費・入会金は不要です(上記の本法人「正会員・賛助会員」制度とは別です)。

会場:山形ドキュメンタリーフィルムライブラリー

山形市平久保100 山形国際交流プラザ(ビッグウイング)3F 試写室(40席)

主催:認定NPO法人 山形国際ドキュメンタリー映画祭

4.24 金Fri
〈YIDFF 2019アンコール3:光に生きる〉
▶14:00, 19:00 (2回上映)
光に生きる—ロビー・ミュラー
YIDFF 2019 インターナショナル・コンペティション
監督:クレア・パイマン
オランダ/2018/Blu-ray/86分



5.15 金Fri
〈YIDFF 2019アンコール4:村に生きる〉
▶14:00, 19:00 (2回上映)
ハルコ村
YIDFF 2019 アジア千波万波 奨励賞
監督:サミ・メルメール、ヒンドゥー・ベンシュクロン
カナダ/2018/Blu-ray/100分



4月24日・5月15日の金曜上映会は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の拡大防止のため、中止といたします。

『都会のアリス』や『タウン・ハイ・ロー』のカメラマンとして知られるロビー・ミュラー、彼の人生と映画が地続きだったことを語る『光に生きる—ロビー・ミュラー』。未映画化脚本集『シネマ・インビジブル』を元にすべての映画にオマージュを捧げる『生まれなかった映画たち』。

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響により、変更や中止の可能性があります。本映画祭Webサイト(www.yidff.jp)でご確認いただくか、事務局(023-666-4480)へお問い合わせください。ご来場の際は、手洗い、咳エチケットにご協力ください

山形ドキュメンタリーフィルムライブラリー

山形国際ドキュメンタリー映画祭インターナショナル・コンペティションやアジア千波万波で上映された作品を収蔵しています。一部の作品は権利者の同意を得て全国の自主上映会や映画祭などに向けて貸出を行ない、ドキュメンタリー映画の普及活動を行なっています。

1989年から2019年に山形国際ドキュメンタリー映画祭に応募された15,000本以上の作品(プレビュー)、東日本大震災の記録映画とその作品資料を蒐集・保存を行うプロジェクト「311ドキュメンタリーフィルム・アー

カイブ」(www.yidff311docs.jp)に登録された作品も視聴することができます。*映画館での公開が決まった作品など、視聴できない場合があります。

また、映画に関する書籍、雑誌、国内外の映画祭カタログなども館内で閲覧していただけます。お気軽にご利用ください。

山形市平久保100 山形ビッグウイング3F

開館時間:10:00-17:00

休館日:月・火曜(祝日を除く)、年末年始

臨時休館はWebサイトでお知らせします。



4.24 金曜上映会 光に生きる—ロビー・ミュラー

クレア・パイマン監督のこぼれ

常日頃、映画のカメラワークに魅了されてきた私が映画学校に進んだのは、撮影技術を学ぶためだった。もちろんロビー・ミュラーのことは知っていたし、彼の仕事を尊敬してもいたが、そのころ彼はドイツに住んでいたため、私たちが出会うきっかけは皆無だった。

やがてある日、突然、彼から一本の電話がかかってきた。どうやら、以前ともに仕事をした彼の妻アンドレアの手引きによるらしい。話を聞くと、彼らはしばらく前にアムステルダムに引っ越していて、助手がひとり必要なのだという。電話で話した彼は親しみの持てる本当にいい人で、申し出を断るのは私としても断腸の思いだった。当時私はちょうどアシスタントをやめ、撮影監督として独り立ちしようと思ったところだったのだ。

ミュラーは私の決断を尊重してくれたが、そういった態度はいかにも彼らしかった。このとき彼は会いにこないかと誘ってくれ、ヴィム・ヴェンダースの『ブエナ・ビスタ・ソシアル・クラブ』(1999)でアムステルダム・パートのカメラを担当してほしいと頼んできたのは、それから間もなくのことだった。私はその後もセカンド班の撮影監督として、彼にときどき呼ばれるようになっていった。ミュラーがカメラを通して見るとき、彼はまるで、自身の目を通して見ているようだった。

レンズ越しでなく、自分自身の感情と立ち位置の視点から見るとそれはまさに、私が自身のドキュメンタリーでも伝えられることだった。いつだって好奇心旺盛だったミュラーとの間には常に互いを刺激し合う関係があり、相対的に見れば新人である私の言い分に、彼はいつも耳を傾けてくれていた。仕事上の関係性であった私たちは、いつしか長きにわたる友人関係を築くようになっていた。

そんな彼が脳血管性認知症に罹ったのは2007年のことである。話すこともままならなかったが、彼にはまだ、自身を代弁しうる映像が残されていた。ロビーは自身の個人的なアーカイブを私のために開放し、そこには、彼がそれまでに撮りためた素材が、8ミリビデオやDVテープから写真、ポラロイドまで、すべて揃っていた。アンドレアの助けを借りてロビーと意思疎通を図りつつ、秘蔵の資料をくまなく見ることができた私は、それらの映像を見ることで、彼に教わったことが補強されていくようだった。光に捧げた彼の愛の物語を語るにあたり、私はこの素材をありがたく利用させてもらっている。そしてそうする機会を得たことを、今ではとても光榮に思っている。

YIDFF 2019公式カタログより

YIDFF 2019 デイリー・ニュース・インタビューもご覧ください。

www.yidff.jp/interviews/2019/19i



レポート

10 子どもの映画教室

つくってみよう うつしてみよう うごかしてみよう

3月20日[金・祝] 山形ドキュメンタリーフィルムライブラリー

主催：一般財団法人 山形コンベンションビューロー

認定 NPO 法人 山形国際ドキュメンタリー映画祭

毎年恒例の映画教室は今年で10回目。ライブラリー&試写室を探検して、「くるくるゲントウキ」(アニメーション・プロジェクト)を手作りしてみんなで観ましたよ。うまく描けたかな?

www.yidff.jp/news/20/200120



311 ドキュメンタリーフィルムアーカイブ

2011年3月11日に起きた東日本大震災の記録映画とその作品資料を蒐集・保存し、作品情報を世界に発信するプロジェクトです。

山形国際ドキュメンタリー映画祭2019「ともにある Cinema with Us」で上映された、『未来につなぐために～赤浜 震災から7年』(監督：小西晴子/2018)、『飯館村に帰る』(監督：福原悠介/2019)、『この空を越えて』(監督：椎木透子/2019)が新たに登録されました。

登録作品の情報はWebサイトで随時更新され、山形ドキュメンタリーフィルムライブラリー(オモテ面参照)で視聴できます。

www.yidff311docs.jp

フィルムを捨てないで!「懐かしい」を未来へ!

ご自宅に眠っているフィルムはありませんか?

何気なく撮影された個人や家族の記録のなかに、人々の記憶を蘇らせ、新しい発見をもたらすような地域の宝物が見つかるかもしれません。

そんなフィルムも、放っておくと急速に劣化が進んで二度と観られなくなってしまいます。

映してみたいけれど映写機がない、何のフィルムか分からない、などありましたら、まずはご相談下さい。

☎山形国際ドキュメンタリー映画祭事務局 023-666-4480



ドキュ山ユース docuyama_youth

山形国際ドキュメンタリー映画祭の高校生チームです。いろいろな上映会やイベントを企画してみよう。イベントなどのレポートは、ブログ「ドキュ山ライブ」に掲載しています。メンバー募集中。

<http://www.yidff-live.info/tag/ドキュ山ユース/>



Yamagata City of Film ユネスコ創造都市やまがた

[お問い合わせ] 山形市創造都市推進協議会 事務局
山形市旅籠町 2-3-25 山形市企画調整部文化振興課内
023-641-1212 (内線 769)

www.creative-yamagata.jp

@FilmYamagata

(「山形国際ドキュメンタリー映画祭情報発信中」)

ブログ「ドキュ山ライブ」 www.yidff-live.info.....

@yidff_8989 @yidff

メールマガジン「YIDFF ニュース」(毎月1回配信)

www.yidff.jp/news/subscription

コミュニティFM ラジオモンスター 76.2MHz 『モンブラン』内

